

3月 たかた

コミュニティスクール高田
校長 河内 圭一
令和2年3月25日

突然の休校！突然の別れ！しかし・・・ 6年生を「ミニサプライズ集会」でおくりました。

例年ならば、この時期は進級や卒業に向けて、様々な行事が行われている頃です。しかし、残念ながら、今回の突然の休校で、「6年生を送る会」の中止や卒業式の規模縮小で、在校生が6年生を送る気持ちを伝えることがなくなってしまいました。

そこで、2月29日（土）の臨時出校日で、「ミニサプライズ集会」を行い、在校生が6年生に感謝の気持ちを伝えました。そこでは、5年生が在校生を代表して、6年生ひとりひとりに、6年生への送る気持ちとして、漢字一文字を贈りました。その後、全校児童がアーチを作り、6年生を見送りました。そこには、多くの保護者も参加され、感動的な送る会になりました。



【6年生への感謝の一文字】

私は、棕本仁呼さんに「花」という言葉を贈ります。その理由は、仁呼さんがいつも花が咲いたような笑顔で笑っているからです。

ぼくが、三原海光さんに贈る字は、「元」です。この字を選んだ理由は、いつも海光さんが元気だからです。ぼくが太鼓で間違えた時でも、海光さんは元気にはげましてくれました。

私は、古里力斗さんに「思」という字を贈ります。その理由は、一組の組長としてみんなのことを思いやってくれたからです。そのおかげで、運動会やほうけんぎょが成功しました。

ぼくが野元幹太さんに贈る字は会長の「長」です。理由は会長として、運営委員会の仕事をがんばっていたからです。そのがんばっている姿を見て、会長の「長」という字がぴったりと思いました。

私は、田丸優空さんに責任の「責」という字を贈ります。この字を贈る理由は、代表委員会で、司会として責任をもって会を進め、話し合いをまとめていたからです。



私は、清水剛斗さんに贈る言葉は「走」という言葉です。この字を選んだ理由は、剛斗さんは、持久走大会では上位になっていたし、運動会ではみんなを抜いていたからです。「走」しかありません。

私が小山花恋さんに贈る字は、「笑」という字です。その理由は、花恋さんは、いつも明るく、笑顔で、遊んでくれたり、ふざけてくれたりして、みんなを笑顔にしてくれるからです。

ぼくが葛原昂さんへ贈る漢字は、「輝」です。運動会の応援合戦では、大きな声でエールを送ったり、旗をふったりしていました。その姿はまるで太陽のように光り輝いていました。

私が木室杏佳さんに贈る字は、「静」です。図書館で本を読む杏佳さんは、静かで穏やかでした。「静」や「静穏」という言葉がぴったりだと思ったので、静の字を送ります。

私は、北野公司郎さんに、「協力」の「協」という字を贈ります。その理由は、公司朗さんが、外で遊んでいる時や餅つきの時などに、みんなと協力して行動している姿をよく見るからです。

私は、岩崎翔汰さんに「責任」の「責」の字を贈ります。その理由は、組長の仕事を責任を持ってしてくれたし、児童会選挙では、責任者を引き受けてくれ、最後まで仕事をしてくれたからです。

私は、伊出井煌牙さんに「支える」の「支」の字を贈ります。その理由は、もちつき組会議の時に、みんながさわがしくなってきたら、みんなに声をかけるなどをして組長を支えていたからです。

ぼくは、谷口七都さんに、「伝える」の「伝」という字を贈ります。七都さんは、校内広報で時間などの大事なことを全校のみなさんに伝えているからです。そして、放送コンテストにも出ています。

私が秋山浩太郎さんに贈る字は、太陽の「陽」です。浩太郎さんは、いつも運動場でサッカーをして、かけ回っています。その様子がとても元気いっぱい、まるで、太陽のようだと感じたからです。

学校評価への協力ありがとうございました。

学校の教育活動への評価として「学校評価」への協力、ありがとうございました。裏面にその集計結果を載せています。この結果を学校としても真摯に受け止め、来年度の学校運営につないでいきたいと思っております。

なお、来年度の始業式は4月6日（月）、入学式を4月10日（金）に予定していますが、変更の際は、関係の家庭へ、すぐメールや電話で連絡します。